

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																			
穴吹ビューティ専門学校	平成15年3月20日	福島 圭吾	〒720-0801 広島県福山市入船町2-2-3 (電話) 084-973-3446																			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																			
学校法人穴吹学園	昭和25年12月16日	穴吹 薫	〒720-0052 広島県福山市東町2-3-6 (電話) 084-931-3325																			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																		
衛生	衛生専門課程	美容学科	平成25年1月29日	—																		
学科の目的	美容師国家資格合格を目標とし、即戦力となるシャンプー、ヘアスタイリング、着付け等習得し、加えてスムーズな入社ができるよう業務実習(インターンシップ)を行い、また、接客に欠かせない接客マナーの資格取得を目標とする、これらにより業界より高い評価を得られる生徒を育成する。																					
認定年月日	平成28年2月19日																					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																
2	2020	570	—	1450	—	—																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																	
80	25	0	4	9	13																	
学期制度	■前期:4月1日~7月30日 ■後期:10月1日~3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準/方法 年2回の期末に科目毎の評価を行い、年度末に通年の評価を行う																		
長期休み	■夏休み:7月~9月で校長が定めた期間 ■冬休み:12月~1月で校長が定めた期間 ■春休み:3月~4月で校長が定めた期間		卒業・進級条件	全履修科目評価C以上 卒業試験合格(筆記・実技)																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 長期欠席者への指導等の対応 担任からの電話連絡、文書送付		課外活動	■課外活動の種類 学園祭での実行委員会、学校説明会での来校者の対応、案内、学校生活の紹介、説明等、クラブ活動 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度卒業生に関する令和元年5月1日時点の情報)																		
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(平成30年度卒業生) 美容業界 ■就職指導内容 就職部の専任担任者を中心に、クラス担任とも連携して指導する。 入学直後のオリエンテーション、就職希望調査、履歴書作成指導、就職活動研修及び個別ガイダンスの実施 ■卒業者数 15 人 ■就職希望者数 15 人 ■就職者数 15 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他  (平成 30 年度卒業生に関する令和元年5月1日 時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家試験</td> <td>②</td> <td>15</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>			資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	美容師国家試験	②	15	11								
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																			
美容師国家試験	②	15	11																			
中途退学の現状	■中途退学者 5 名 ■中途退学の主な理由 進路変更、体調不良 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任のカウンセリングスキルアップのための取り組み、発達障害等の問題学生への対応の仕方を定期的に研修		■中退率 13.9 %																			
経済的支援制度	穴吹カレッジ特待生制度、高資格・検定取得者特待制度、在校生・卒業生の親族入学優遇制度、家賃支援制度、遠方奨学生制度。 下記、経済的理由のいずれかに該当する学修困難な世帯の学生より、審査を行い、そのうち学校で1名について授業料20万円を減免する。 (生活保護費受給、個人住民税所得割が非課税、所得税が非課税、保護者等の失業、倒産などによる家計の急変の方)																					
第三者による学校評価	現在は行っておりません。																					
当該学科のホームページURL	http://web.anabuki-net.ne.jp/auf/																					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

美容師として働くために、美容、メイク、ネイル、着付け等に関する基礎知識から実践的な技術を身に付ける人材を育成する。また、お客様に対する接客等の現場対応力を身に付けるための実務実習(インターンシップ)を行い、より具体的な学びの場を設けている。さらに、関係企業からの講師派遣による授業とその評価を行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

第三者評価委員として年2回の教育現場の評価をいただき、改善に努める。委員会は、学内教務部で開催される教務会議の諮問答申機関として位置付ける。

科目の改廃などのカリキュラムや授業方法の工夫・改善等について、教育課程編成委員会の審査を通じて示された企業等の要請、その他の情報、意見を教務会議に諮問答申することができる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
三瀬 勝	(財)国際美容協会山野流着装 関西中四国支部 支部長	平成30年11月1日～令和元年10月31日(1年間)	①
内山 完治	(株)イメージサロンカツ 代表取締役	平成30年11月1日～令和元年10月31日(1年間)	③
新宅 有美	(株)ラブリー 代表取締役	平成30年11月1日～令和元年10月31日(1年間)	③
福島 圭吾	穴吹ビューティ専門学校 校長	平成30年11月1日～令和元年10月31日(1年間)	
信岡 誠三	穴吹ビューティ専門学校 副校長	平成30年11月1日～令和元年10月31日(1年間)	
松本 孝市	穴吹ビューティ専門学校 教務部長	平成30年11月1日～令和元年10月31日(1年間)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年に2回を必須とし、その他、必要に応じて臨時に開催する。

(開催日時(実績))

第一回 平成30年12月10日 10:00～12:00

第二回 平成31年3月26日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

委員からの意見については全教員に周知を図り、共通認識を持った行動をとっている。

美容師国家試験は全学生を合格させる体制を整備し、継続している。

職業人としての意識を高め、維持していくために企業と連携した授業についても継続して実施している。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学内で身に付けた知識、技術を連携した企業等で実践、または連携した企業から講師派遣を受け、授業を行い、定期的に評価を受けることにより、より一層のスキルアップにつなげる。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

学生にとって効果的な実習となるよう、実習の目的や内容を事前に打ち合わせを行い、インターンシップにおける企業実習担当者からは「教務日誌」にて実習の内容、または現状の報告を受け、適宜調整を行い常に企業側との意見交換を行っている。それぞれの科目ごとに試験を実施し、連携企業担当者の視点での採点、成績評価をしている。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
実務実習	学内で習得した美容業の基礎となる挨拶や接客マナーを実際のサロンで実践する	TAYA福山天満屋店、カツツ他、全11店
ネイル実習	関連企業より講師の派遣を受け、ネイル技能検定取得を目指す	(株)Labry
専攻 (ヘアスペシャリスト)	カット、カラーリング、スタイリングの技術を駆使してオリジナルのヘアスタイルを搜索する	rinka(株)
専攻 (ブライダルスタイリスト)	結婚式での和装洋装の着付け、ヘア、メイク、式の流、しきたり等を習得する	サロンド・パレ・サカエ
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針		
教職員研修規程にて定められている指導力アップのための研修と専門的・技術的なスキルを習得する研修をそれぞれの現状の修得状況に合わせ、年度当初に立てる研修計画に基づき予算化し、組織的、計画的に遂行していく。		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
美容師実技試験委員研修 日程 平成30年7月23日(月) 主催 公益財団法人理容師美容師試験研修センター		
まつ毛エクステーションの現状について 日程 平成30年10月21日(日) 主催 公益社団法人日本理容美容教育センター		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
夢を実現するために 日程 平成30年10月21日(日) 主催 公益社団法人日本理容美容教育センター 講師 小原 工 氏		
(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
穴吹総研による実際の授業の視察を行い、その後、授業運営についての講評、指導会を実施		
② 指導力の修得・向上のための研修等		
穴吹総研による実際の授業の視察を行い、その後、授業運営についての講評、指導会を実施予定		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

- ① 関係者ならではの視点で具体的かつ実践的な評価を受ける
- ② 自己点検評価の適正化、妥当性を客観的に評価する
- ③ 結果として、職業に必要な実践的かつ、専門的な能力がより習得できる改善計画を立案し、PDCAサイクルを回し続ける

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか 教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか 学外に対して教育理念等を明文化し、公表しているか 各就業期間における教育目的、教育目標、教育計画が文書化され提示されているか
(2) 学校運営	理事会が定期的で開催されているか 評議員会が定期的で開催されているか 運営会議が定期的で開催されているか 人事規程が文書化されているか 決裁規程が文書化されているか 個人情報保護規定が文書化されているか
(3) 教育活動	学校の年間スケジュールはあるか シラバスあるいは講義要項等が作成されているか 学生によるアンケート等にて授業評価が定期的に行われているか 結果に基づく教育面接を実施しているか 結果に基づく授業観察を実施しているか 結果に基づく教育のレポート、改善計画等が作成されているか 授業改善のための組織的取り組みが行われているか キャリア教育などが行われているか
(4) 学修成果	学生の就職に対する目標を設定したか 資格・検定・コンペに関する目標を設定したか 退学率の目標を設定しているか 卒業生の進路、就職先等を公表しているか
(5) 学生支援	進路、就職に関する支援体制は整備されているか 学生相談に関する支援体制は整備されているか 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか 課外活動に対する支援体制は整備されているか 卒業生への支援体制はあるか
(6) 教育環境	学校生活におけるリスクマネジメントとして保険に加入しているか 防災・防犯設備が整備、点検されているか 施設、設備の保守・点検が定期的に行われているか
(7) 学生の受入れ募集	学校案内等には育成人材像が明示されているか 学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか 学校案内等には学費、教材費等が明示されているか 入学に関する問い合わせ等には適切に対応できる体制ができているか
(8) 財務	年度予算、中期計画は策定されているか 予算は計画に従って妥当に執行され、定期的に確認されているか 会計監査体制のルールが明確化されているか 会計監査の結果報告が文書等で明確化されているか

(9)法令等の遵守	自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか 自己点検・評価報告書があるか 自己点検・評価報告書が公表されているか
(10)社会貢献・地域貢献	
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

時代や入学してくる学生のニーズに合わせた教育環境の整備が必要との声に対し、学生の精神的、または肉体的な負担とならないよう年間行事の必要性とその内容の見直しを実施したメイク・ネイルエステ技能習得成果を発表する機会が必要との意見があり、保護者及び関係者を招いて、メイクネイルエステを施術し、技能向上に役立てた。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成31年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
小泉 慎一郎	株式会社カトリア 福山支社	平成31年3月26日～令和2年3月25日(1年間)	企業委員等
三瀬 勝	(財)国際美容協会関西中四国支部	平成31年3月26日～令和2年3月25日(1年間)	企業委員等
石田 智富枝	(有)MDK	平成31年3月26日～令和2年3月25日(1年間)	企業委員等
坂口 栄里奈		平成31年4月1日～令和2年3月31日(1年間)	卒業生代表委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページにより8月頃公開

<http://web.anabuki-net.ne.jp/data/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育に関わる情報について原則、公開する

定期的に更新し、最新の情報を提供するよう努める

情報の提供に際してはインターネットでの提供を基本とする

統計的な情報については算定方法など根拠となる情報も同時に提供する

個人情報扱いに留意し、特定の個人が特定できない情報として提供する

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校名、所在地、学校の沿革、歴史 学校の教育、人材養成の目標及び教育指導計画 経営方針
(2)各学科等の教育	入学に関する受け入れの方針及び入学者数、収容定員、在学学生数、カリキュラム、時間割、年間の授業計画 進級・卒業の要件 資格取得、検定試験合格等の実績 卒業者数、卒業後の進路
(3)教職員	教職員数 教職員の組織、教員の専門性

(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況 実習・実技等の取り組み状況 就学支援等への取り組み支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況 課外活動(部活動、サークル活動、ボランティア活動)
(6) 学生の生活支援	学生支援の取り組み状況
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金の取り扱い 活用できる経済的支援措置の内容等
(8) 学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9) 学校評価	自己評価、学校関係評価の結果 評価結果を踏まえた改善方法
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	
※(10)及び(11)については任意記載。 (3) 情報提供方法 ホームページにて公開 <a href="http://web.anabuki-net.ne.jp/data/">http://web.anabuki-net.ne.jp/data/</a>	

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 2019年度生														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	美容師法などの美容の業務に関する衛生法規や制度、消費者の保護法規や制度、又公衆衛生を担う美容師の社会責務、職業倫理について勉強します。	2・前後	30		○			○			
○			衛生管理	公衆衛生の意義と本質を学び、美容師の業務内容と感染症予防、環境衛生の保持のための衛生管理、消毒の方法などを勉強します。	1前～2後	90		○			○			
○			保健	美容技術の基礎となる人体組織、特に皮膚及び毛髪などの皮膚付属機関の構造と機能に関する科学的、系統的な知識を習得します。	1前～2後	90		○			○			
○			香粧品化学	香商品の適正な取り扱いができるように、物理・化学のの基本原理や応用について学びます。	1前～2後	60		○			○			
○			文化論	美的感覚を身に着け、洗練させるためのデザインや服装なども学び、芸術的な表現力や鑑賞力を養います。	1前～2後	60		○			○			
○			美容技術理論	美容技術を衛生的、能率的に行うための基礎知識や美容器具、実際に即した基礎技術の科学的合理的な方法を学びます。	1前～2後	150		○			○			
○			運営管理	マーケティング、経営管理、労務管理などの基本的な理論や事項、又接客法、消費者の対応を学びます。またそれらを実践する能力を高めるための学習をします。	2・前後	30		○			○			
○			美容実習	美容の技術を安全かつ効果的に実践する技術や基本操作を確実に身につけ、衛生管理のための消毒の実践方法なども学べます。美容の総合的な技術の基礎を身につけます。	1前～2後	900					○	○	○	
	○		メイク実習	スキンケアからベースメイクアップまでの基本テクニックとナチュラルメイクから洋装ブライダルメイクまで幅広く学べる授業です。	1・前	60					○	○		○
		○	ネイル実習	爪の形を整えることから始まり、ネイリストベーシックをマスターします。ネイルケア、ネイルアートに関する基本的な技術及び知識を習得します。	1・前	60					○	○		○
		○	総合美容	必須科目において習得した技術を基に、さらに発展させた高度な技術を身につけます。美容デザインの最新の国際的動向について学び、専門技術者としての心構えを身につけます	1前～2後	150					○	○		○

